

集落座談会 意見・要望回答 (抜粋)

6月15日からJA管内の各会場で開催された集落座談会での主なご意見・ご要望と、JAからの回答は次の通りです。

Q カラス被害対策について、市・県とも対策が無いとのことであったが、JAで対応できないのか。

A 平成29年度も、鳥獣(シカ・鳥害)対策として500万円計画しております。カラス被害対策についても、行政とも協議して検討して参ります。

Q 担い手、後継者育成についてJAに策はないのか。

A 農業公社での研修制度(2年間)はあります。また国の事業で、次世代人材投資事業(旧青年就農給付金事業)等もありますので行政とも協議を行います。(採択基準要件等があります)

Q さつまいもの生分解マルチの普及拡大の対策をどのように考えているのか。

A 現在、でん粉用甘藷(島内で10ha)で試験栽培中です。結果を踏まえ、普及対策を検討していきます。

Q 青色申告会員で所得額に応じた資格の内容と、法人に対しての対応について

A 青色申告会が税理士会と締結しているのは、300万円以下の所得者に対して

象とした派遣契約です。

300万円以上の所得のある会員は、代行記帳・決算書の作成はできませんが、申告書は本人作成となります。

法人は、青色申告会での申告が認められておりません。

今後、法人会員の対応については、検討して参ります。

Q さとうきびの刈取料金が高いのだからとかならないのか。

A 行政・農業公社と協議しながら検討して参ります。なお、刈取料金については、ハーベスタの機械老朽化による修繕費の増や、人員確保に苦慮している状況ですので、ご理解をお願いいたします。

Q さとうきびの種苗について、メイチュウが多い種苗が多かった。種苗のチェック体制はどうなっているのか。

また、具体的な農薬の使用方法について指導してほしい。

A 各地区の対策協議会等で、優良種苗が供給できるようにメイチュウ対策も含め、委託農家とも連携を取りながら対応いたします。農薬については、数種類あることから、チラシを作成して周知致します。

Q 育苗会計について、収支改善のために苗の単価をあげるといふことだが、

理事会で十分に検討がなされたのか。
A 理事会、経済委員会において慎重に検討を行いました。尚、生産者の生産意欲を減退させないよう、値上げ単価の一部助成を行いながら対応していく方向で決定されております。

Q バイオ供給希望時期に配布されていない、育苗管理の人員が不足しているのではないのか。(配布時期の調整等)

A 気象的な要因もありますが、希望配布できるように、人員確保についても検討して参ります。

Q 営農指導員が現場に巡回指導できる体制を強化してほしい。

A 営農指導員の業務の見直しを行い、巡回指導に専念できる体制を検討して参ります。

Q 高齢化が進む中、さとうきび・でん粉用甘藷の面積が減少している中、でん粉工場の存続の問題も含め検討されているのか。

A 高齢化により、生産面積・生産量も減少している状況です。でん粉工場の操業率の問題も含め、単収引き上げ等の対策を講じて参ります。

Q 予約肥料の配達を使用時期近くに出さないものか?

A 春肥の配達については、一部業者委託をしながら3月末までの配達計画となっております。使用時期(順番)等考慮しながら計画的な配達に努めます。

Q 高齢者で小規模農家向けの対策はできないか。

A 小規模農家向けではありませんが、現在、部会組織に加入している生産者に対する助成要領を協議しております。

Q 自己改革の取組みとして、肥料等の価格を安くすると言っているが実際に安くなっているのか。また、購買品をまだ安くできないのか。

A 肥料については、昨年2回大幅な値下げを行いました。飼料・農薬についても市況情勢もありますが今後経済連と協議し少しでも安く供給できるよう努めます。資材等についても品目ごとに取りまとめを行いコスト削減に努めます。

Q 特定有人国境離島法について、農産物や肥料・農薬・資材の取り扱いはどうなっているか。

A 農産物については、現在、4月分から行政のほうで出荷数量の取りまとめを行っております。肥料・農薬・資材については、まだ具体的な協議が行われていません。決まり次第お知らせ致します。

Q 春肥予約における決済は水稲肥料が8月決済、その他肥料は12月決済となっているが、さとうきび生産農家が多いなか収穫時期の2月決済で行えないのか。

A 経済委員会、理事会等で協議を進めて参ります。



【全体運】 イベントや祭りなど、にぎやかな行事を満喫するのに最適です。文化祭やコンサートにも気軽に足を運び幸運が
【健康運】 ストレス発散が大事。体調に好変化あり
【幸運を呼ぶ食べ物】 栗